

14 番（小川義昭議員）

では、白山手取川ジオパーク世界認定に関しての最後の質問です。

世界認定後の有効利活用策についてお伺いします。

世界ジオパークに認定されるか否かは、先週の専門家会議によって方向性が示されるものと思いますが、あくまでも世界認定を求めることだけが目的ではなく、世界認定された後、いかにジオパークをこれからの白山市の発展に有効に利活用していくかが重要であります。

ジオパークが世界認定されてもユネスコや国からの財政支援があるわけではありません。

世界認定を有効に生かしていくためには、市民をはじめ、企業や団体との連携を一層深め、産学官民が一体となり、教育、観光施策や広報活動などの有効な利活用策を推進、展開することが重要と考えます。

1つの手だてとして、市内外の企業や団体、個人から資金提供を受け、集まった資金を植樹やPR活動など、ハード・ソフト両面の取組に充当し、市民の理解度を一層深め、活動の強化と裾野の拡大につなげ、ジオパークを大切にする機運を高めるためのジオパーク賛助金制度を設けることも一考かと思えます。

世界認定後のジオパークの有効な利活用策をどのように考えておられるのかお聞きします。